

機械器具3 医療用消毒器
管理医療機器 小型包装品用高压蒸気滅菌器（JMDコード：38671020）
特定保守管理医療機器 サクラ小型高压蒸気滅菌器 FA-360BE

【警告】

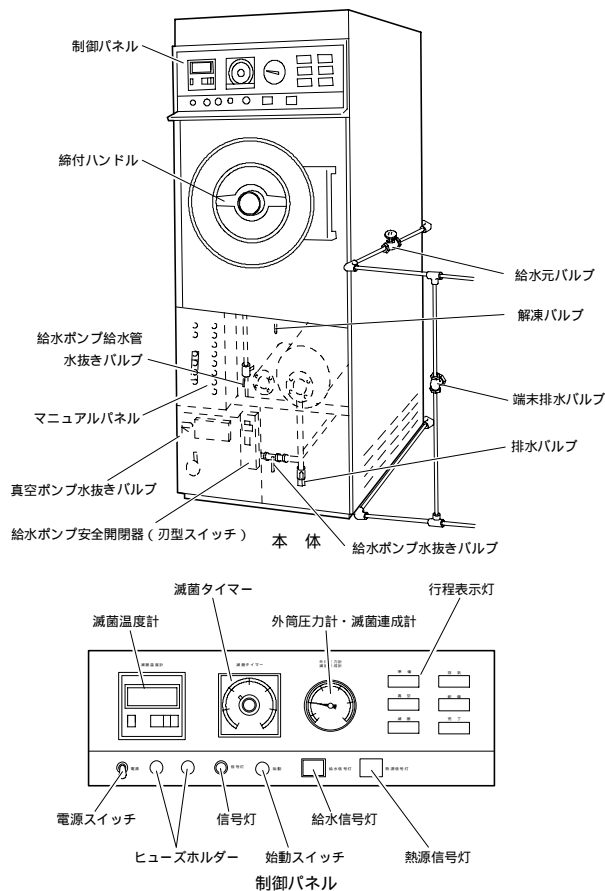
- ・装置、被滅菌物は高温になるのでヤケドに注意する。
- ・圧力が異常上昇したら電源を切る。

【禁忌・禁止】

- ・大気圧を超える圧力で扉を開放しない。
- ・装置内に引火性、爆発性物質を入れて使用しない。
- ・医療用器材以外の物は滅菌しない。
- ・密閉された物は滅菌しない。
- ・消毒薬、蒸留水等の液体滅菌は行わない。

【形状・構造及び原理等】

【各部の名称】



【必要とする設備】

電源設備

ヒーター電源単相仕様

電源容量 : AC 100V、4.95kW以上

周波数 : 50/60Hz

接地端子 : D種以上

給水設備

給水量 : 3リットル/min以上

配管 : SGP15A

排気・排水設備

配管 : SGP20A

単独配管にて放出(排水温度100℃以上)

【動作原理】

蒸気発生装置は、外部から供給された水をヒーターで加熱して蒸気が発生させ、滅菌室外周の外筒に供給する。外筒の熱により滅菌室(缶内)が加温される。

運転が開始されると、真空ポンプにより滅菌室内を減圧して空気を排出する。所定時間が経過すると、外筒から滅菌室内に蒸気を入れて滅菌を行う。所定時間が経過すると、滅菌室内の蒸気を外部に排出する。その後、真空ポンプによる滅菌室内の減圧動作と、フィルターを通した空気を外部から入れる動作の組み合わせにより乾燥を行う。所定時間が経過すると、運転が終了となる。

また、車載での野外手術を目的とし、滅菌作業前の解凍プログラムと滅菌作業後の水抜きプログラムを有する。

*【使用目的、効能又は効果】

大気圧を超える圧力のもとに飽和蒸気滅菌する器械器具。

*【品目仕様等】

最高使用圧力	内筒	0.20MPa
	外筒	0.20MPa
滅菌タイマ	0～60分（自動復帰式）	
滅菌温度	132	
エアフィルタ	0.3μmの微粒子を99.99%以上除去	

【操作方法又は使用方法等】

以下の手順の詳細は取扱説明書の「操作、通常運転」をご参照ください。

1. 運転前の操作

- 1- 末端排水バルブ・5ヶ所のバルブ（排水バルブ・給水ポンプ配水管水抜きバルブ・解凍バルブ・真空ポンプ水抜きバルブ・給水ポンプ水抜きバルブ）を閉じ、給水元バルブを開く。
- 1- マニュアルパネルの各スイッチ位置確認。
- 1- 安全開閉器刃型スイッチ・電源スイッチをONにする。
- 1- 行程表示灯が「準備」・「給水信号」の点灯を確認。

取扱説明書を必ずご参照ください。

- 1- 給水ポンプ水抜きバルブ及び真空ポンプ水抜きバルブを約10秒間開にし、その後閉じる。
 - 1- 缶体加温の為、約50分間待機。
 - 1- 給水完了後「給水信号」が消灯、「熱源信号」が点灯。
 - 1- 扉を開き被滅菌物を入れ、扉を閉じる。
 - 1- 滅菌タイマーをセットし、始動スイッチをONにする。
- 運転が開始されます。運転が完了すると、ブザーが鳴ります。

2. 運転後の操作

- 2- 滅菌連成計（赤針）が「0」であることを確認して扉を開き、被滅菌物を取り出し、扉を閉じる。

続けて運転を行う場合は1- から操作します。

すべての作業が終了した場合は、以降の操作を行います。

- 2- 給水元バルブを閉じて、排水スイッチをONにする。
- 2- 排水バルブを開き、排湯、排蒸を行う。
- 2- 外筒圧力計（黒針）「0」であることを確認して解凍バルブを開く。
- 2- 給水ポンプ水抜きバルブを開け約10秒間右に倒して排水し、その後左に倒す。
- 2- 給水ポンプ給水管水抜きバルブ及び真空ポンプ水抜きバルブを開にする。
- 2- 始動スイッチをONにする。

水抜き作業終了後、水抜き完了ブザーが鳴ります。

- 2- 冬期スイッチをON、排水スイッチ・解凍スイッチをOFFにする。
- 2- 排水バルブ・給水ポンプ水抜きバルブ・給水ポンプ給水管水抜きバルブを閉じる。
- 2- 安全開閉器刃型スイッチをOFFにしてから、電源スイッチをOFFにする。（逆の順番で操作しないこと）
- 2- 端末排水バルブを開く。

【使用上の注意】

詳細は取扱説明書をご参照ください。

- ・液体（薬液・生理食塩水）・プラスチック等は滅菌しない。
- ・薬液や洗剤の付着した物は滅菌しない。
- ・サビ、ゴミ、油脂等を含まない水を供給する。
- ・バイオロジカルインジケータを用いて、必要な滅菌条件を決定する。
- ・運転ごとに、ケミカルインジケータの変色が良好であることを確認する。

*【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

[使用環境]

周囲温度：0～50
 相対湿度：30～85%RH（結露しないこと）
 気圧：絶対圧力 70～106kPa

[耐用期間]

耐用期間：製造出荷後 8年
 条件：取扱説明書及び添付文書に記載された取扱注意事項あるいは保守・点検に係る事項を順守し、定期的な日常点検・保守点検を実施すること。
 点検結果により、下記に示す主要な構成部品や保守点検事項に記載された交換部品を必要に応じ交換すること。

保守部品として供給される主要な構成部品は下表の通り。

主要な構成部品名	使用耐用年数
真空ポンプ	5年
制御部品	3年
ヒーター	5年

ここに記載した装置の耐用期間及び主要な構成部品の使用耐用年数は保証期間ではなく、上記の条件を満たした場合での平均的な年数となるため、使用環境、使用方法などにより異なります。

【保守・点検に係る事項】

[使用者による保守点検事項]

詳細は取扱説明書をご参照ください。

- ・滅菌連成計 運転ごとに、扉を開いた状態で滅菌連成計の指示が「0」からズレていないことを確認する。
- ・扉パッキン 定期的に、扉パッキンをガーゼ等で清掃し、傷等がないか点検する。
- ・ストレーナー 滅菌室内のストレーナーをときどき清掃する。
- ・ヒューズ 切れていないか点検する。
（ホルダー内・刃型スイッチ内）
- ・滅菌室内 定期的に、水を含ませた布で滅菌室内を清掃する。
- ・定期自主検査 「ボイラー及び圧力容器安全規則」による点検を1年に1回行い、その記録を保管する。

[業者による保守点検事項]

- ・扉パッキン 1～2年に1回、新品と交換する。
- ・エアフィルター 定期的に新品と交換する。
- ・ヒーターファンリング 定期的に新品と交換する。
- ・各表示ランプ 定期的に新品と交換する。
- ・水位レベル検出電極 定期的に新品と交換する。
- ・パッキル弁替えシス 定期的に新品と交換する。

【包装】 1台

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元

名称：サクラ精機株式会社
 住所：長野県千曲市大字八幡1122-8
 電話番号：026-272-8381

製造元

名称：サクラ精機株式会社
 住所：長野県千曲市大字鋳物師屋75-5
 電話番号：026-272-2381

取扱説明書を必ずご参照ください。